

・ AALA ニュース 109号 ウクライナ特集 第10弾

内容紹介

引き続きウクライナ危機が中心の情報提供です。

1. クレステス FT「欧州に迫る平和党と正義党の選択」

英フィナンシャル・タイムズに掲載された論文です。原題は「ロシアを孤立させることは、西側のためにならない」となっています。

2. ボーテス 「南アフリカの立場は中立ではなく非同盟」

アルヴィン・ボーテス（南ア共和国、国際関係・協力担当副大臣）が南アの新聞デイリーマーベリック紙へ寄稿したものです。

3. 安齋育郎「ウクライナ問題について」

ウクライナ危機の背景についての論考です。筆者の了解を得て転載します。

4. 新藤通弘「米州首脳会議の恣意的招待にラテンアメリカが反発」

6月2日の日本 AALA 国際部会研究会で発言されたラテンアメリカ研究家の新藤通弘さんが提供された資料です。米国は米州首脳会議のホスト国として、キューバ、ベネズエラ、ニカラグアの首脳を招待しないと発表し、波紋を広げています。これについての解説です。

5. 清水学「邦語で読めるウクライナ関連文献・書籍」

6月2日の日本 AALA 国際部会研究会で発言されたユーラシア研究家の清水先生が、資料提供されたものです。

6. 野本久夫「ロシアはウクライナへの侵略戦争を止めて撤退せよ」

日本 AALA 代表理事の野本久夫氏が雑誌『憲法運動』6月号に寄稿した論考です。

7. 木村知義「ウクライナから吹く逆風に抗して」

他誌に掲載されたものを、会員の紹介を得て転載します。

8. 「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合アピール」

会員の大西広先生からの投稿です。「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(市民連合)のアピールの転載です。

9. アメリカの冷戦型覇権戦略と中国の経済的覇権戦略 -ウクライナ問題の性格規定とも関わって-

会員の大西広先生からの投稿です。